

■テーマ 5, 6年生 日本のお正月とオーストラリアのクリスマスの食文化について紹介し合おう。

■交流の様子



■交流内容

(1)あいさつ (お互いに届いたクリスマスカードの見せ合い)

(2)日本のおせちについて紹介 (北山校→リズモア校)

【①黒豆 ②かまぼこ ③栗きんとん ④数の子 ⑤海老 ⑥鯛 ⑦里芋 ⑧蓮根】

(3)クリスマスの食べ物について紹介 (リズモア校→北山校)

(4)日本語と英語の単語でしりとり (北山校は英語で、リズモア校は日本語で)

今年3度目のリズモア校との交流でした。今回のめあても、「コミュニケーション」を図ること。これまで以上に、ジェスチャーを入れながら伝えることを意識して交流することをめざしました。今回は5年生の外国語で学習した「おせち」について、一人一食材を担当してお正月の食材に用いられる意味について発表しました。今回も、プレゼンテーションソフトで作成した資料を同じ画面の中に見せながら交流を行いました。

交流では、児童が考えたおせちの意味について3択クイズに正解して喜んでくれたり、日本語と英語のしりとりを必死に考えて答え合ったりすることで、楽しい交流の時間になることができた。オーストラリアのクリスマスに食べられるケーキや「いくら」のことを「キャビア」ということなど、初めて知ったこともたくさんあり、貴重な異文化交流の時間になった。

■児童の感想

- ・今回の交流ではたくさんの発見がありました。クリスマスに20個もプレゼントをもらえたり、日本で食べるいくらがキャビアの部類だったりして、びっくりしました。そして蓮根がアジアのものだと初めて知りました。パブロア (クリスマスケーキ) を食べてみたいです! (6年)
- ・日本のことについてゆっくりと言うことを意識できた。文化を学べるいい交流になった。(6年)
- ・オーストラリアではクリスマスにケーキを食べないことが初めて分かった。蓮根はアジアのショップで売ってあることを初めて知った。(5年)
- ・パブロアバがとってもおいしそうで、今度食べてみたいです。交流をするたびにコミュニケーションが上手くとれるようになってよかったです。(5年)